中等教育受驗者諸君

考に供すべきことも尠からず候へ共こは本 申上候、尙檢定試驗に關する事情様々御參 試験の結了を待つて御知らせ可申候 せらるし諸君の爲め、左に不取敢本年度へ第 将來圖畫科の文部省檢定試驗を受けのんと 二十一回)に於ける豫備試驗問題を御紹介

屬する國語問題(第二十一回) 習字圖畫體操音樂手工科豫備試驗に

は左の問題に答ふべし 師範學校、中學校、高等女學校教員志願者

左の文章を正しき口語文にて解釋せる すべし、故に思を文學に寄する者の、之 尊重すべく他の一面に於ては其の國民の 性質及び社會の質相の寫眞畫として尊重 俗諺は一面に於ては其國民の短詩として を討尋研究して咀嚼し玩味を品評すべき

> のたるべきなり。 ところは各相異なるにもせる、俗諺は同 人々に取りては、其の人々の職務とする 察せんとするが如き高尚なる念慮を抱く 圖を看取して、世界の文明の大歸趣を考 思想の眞歴史を讀み、國民の性格の眞地 之に耳を假さじるべからず、特に人類の ず、哲學心理の精しきに心を潜むる人も 身を委ねる人も之を一顧せざるべから 一なる趣味と利益とを與ふるところのも

二左の語句の中(甲)は其の意義を解釋し、 (乙)は其の訓讀を假名にて示し、(丙)は 漢字に改める

甲 紹介擔保豫戒令振替貯金混成旅團

2 只管流石提燈旅籠杜撰

(丙) おろしうり むとどけけつきん ひん げふはくらんくわい せいたうや りんきおうへん くわん

二左の文に誤謬あらば訂正せよ、 一五十音圖を平假名にて記せ の理由を説明するを要せず 文 法 但し訂正

> れまじ 正しからざれば決してよき人とはいは みめ形いかに美しとも若しその心ざま

や論無きのみならず、政治商業の廣きに

明日御閑暇に候へば拙宅へ御出下され べく候

三「獵師鹿を射る」といふ文によりて過去未 來打消及び推量をあらばせる四つの文

を作れ

檢定試験を受くるに至れる次第を友人に報 ずる文(候文體

女子師範學校、師範學校女子部、高等女校 のみの教員志願者は左の問題に答ふべし 右五時間

左の文章正しき口語文にて解釋せよ 嶽にても、或は隧道を穿ち、或緩傾斜 の道路を開きて交通を容易ならしめ、 及の途を講ずるに汲々たり嶮峻なる山 自然の不便と障礙とを排除し、文明普 進歩せる人類は種々の方法によりて、 文に及すと共に、一方にては、知識の 地形は直接間接に尠からざる影響を人

沼澤の地には排水の工事を施して沃野に化せしめ、此の他運河を通じ、鐵道しむるが如き、皆其の手段に外ならざるなり。

同じ 二中學校師範學校高等女學校志願者の分に

二於テ書

文法

三問題は無し一、二問題は中學師範高女の分に同じく第

作文

中學師範高女の分に同じ

右五時間

圖畫科(鉛筆畫)豫備試驗問題

一臨畫(俳像(小兒熟睡の狀態)

納凉

(但著色スペシ)

右三時間

書題のみ與へて各自任意に水彩畫にて作 や鉛筆にて摸寫せしむるもの、新案とは が別大の紙片に石版にて印刷せる鉛筆畫

圖書(用器醬)科豫備試驗問題

むるものに候

七厘ー寸二分五厘ノ高サチ有スル位置 (1) 二寸五分ノ等邊三角形チ三邊ノ中點 (1) 二寸五分ノ等邊三角形チ三邊ノ中點 (女子師範學校、師範學校女子部、高

シテ等角投影圖ニ作レダル直徑四寸の球ヲ各ニ分ノーニ縮小ガ六分厚ニ寸)及其上面ノ中央ニ置キ

甲、一點ヲ通シ二直線ニ接スル圓周ヲ一) 左ノ圖法ヲ問フ

温の法

形ニ相似スル三角形サ作ル法

(五) 大小二個ノ斜軸圓柱ノ相貫體ノ圖チ(五) 大小二個ノ斜軸圓柱ノ相貫體ノ圖チ

ベシ

但開展圖ニハ交切線ノ位置チモ

示ス

尚、今年の試験は左の如く、又鉛筆科東京右三時間

申候れるの少數にて、其内三名の婦人心見受けれるの少數にて、其内三名の婦人心見受け

第二十一回試験目割 第二十一回試験目割 第二十一回試験目割 の 語 ス月廿一日(前八時-仝十一時) 図 語 仝月廿八日(前八時-仝十一時)

れては、たまらんハテなぜだらう? れるのは平氣だが、同年輩殊に式部とこられるのは平氣だが、同年輩殊に式部とこら

かつも其答に躊躇する。
、又中には「薬やさんですネー」と云ふ、
、又中には「薬やさんですネー」と云ふ、
にはスケツチ箱、脇には三脚といふ出で

をによつと出す、? のですか」と幾何學的なことをいふて、首めると、パ**ツク**式の田吾作「作圖してゐる好書題を見出し、しきりに、腕をふるうて

でも見えるのだろう、?
と吠へられる、サテスタイルが犬ころしと三脚が犬に何んと見えるか知らんが、キッ

00